

本市の交通環境等

1 交通環境

宇都宮市は、東京都心から北へ約100キロメートルの距離にあり、栃木県のほぼ中央に位置する。

主な交通網として、東北新幹線、JR宇都宮線、東武宇都宮線の鉄道が通るほか、東北自動車道や国道4号などの広域道路が通っており、東京と東北地方を結ぶ交通の要衝となっているとともに、茨城県常陸那珂港と群馬県前橋市・高崎市を結ぶ北関東自動車道が本市を通り、北関東の拠点となっている。

また、令和4年3月にLRT（次世代型路面電車）の開業が予定され、JR宇都宮駅東口から芳賀町までの優先整備区間の整備が進められている。

（1）主要交通網の状況

① 道路

道路体系は、東北自動車道、国道4号線、新4号国道といった南北方向軸と、国道123号線（水戸街道）と大谷街道といった東西方向軸の両軸を基軸とし、国道119号線（日光街道）、田原街道、白沢街道、鬼怒通り、上三川街道、栃木街道、鹿沼街道等により、放射線状に構成されている。また、これらの放射線道路を有機的に接続する環状道路については、外環状線と内環状線が既に環状化されており、都心環状線についても、全環状化に向けて整備が進められている。

さらに、北関東自動車道と新4号国道が「宇都宮上三川IC」で接続するとともに、宇都宮北道路においては、ランプ部の工事に着工するなど、広域道路網についても着々とその整備が進められており、新たな高速幹線軸が確立されている。

また、東北自動車道と主要地方道宇都宮今市線（大谷街道）との交差部及び東北自動車道と市道2457号線（中丸野沢線）の交差部においては、スマートインターチェンジの整備を進めている。

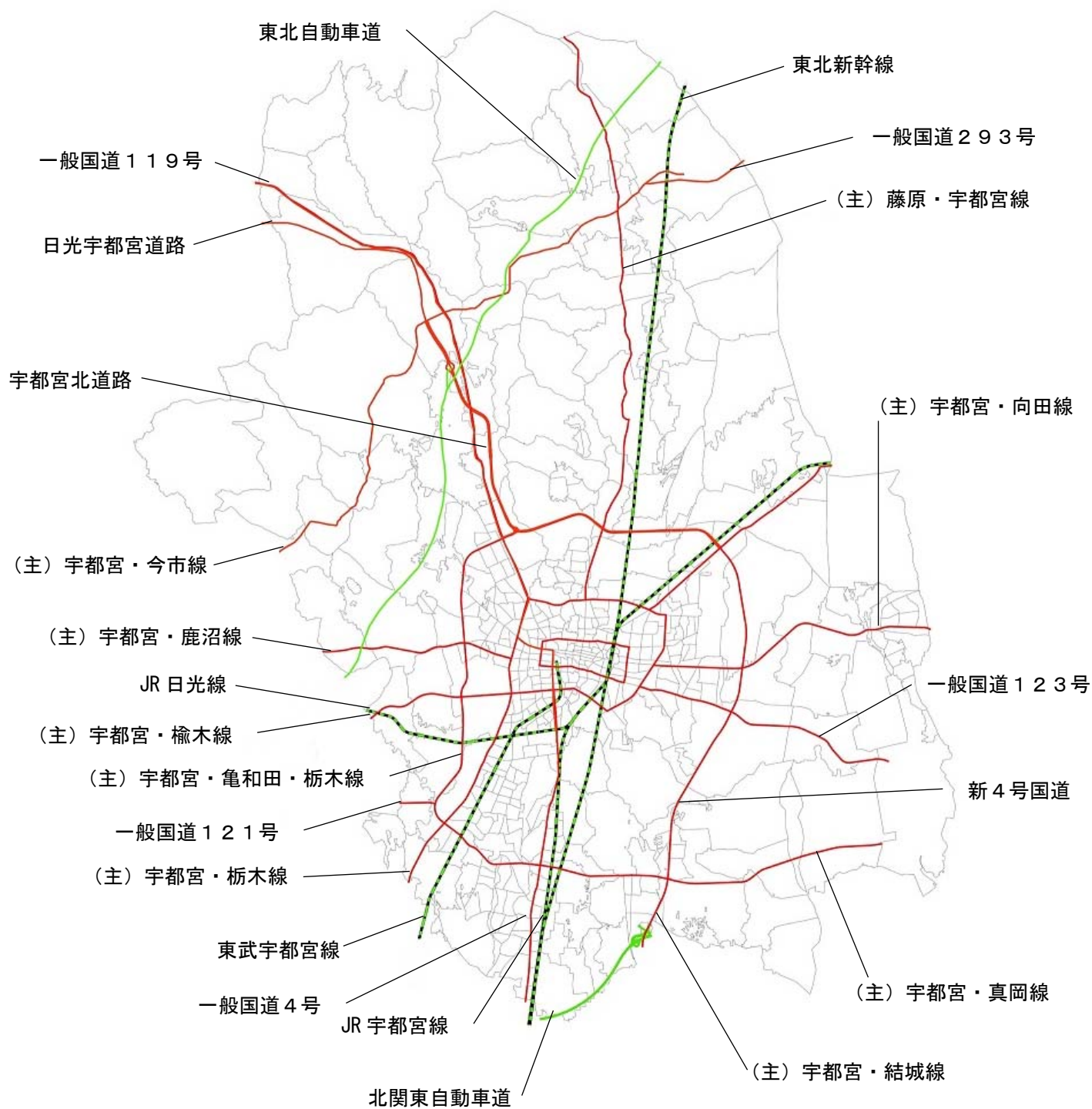
② 鉄道

鉄道交通網は、南北を東北新幹線、JR宇都宮線が貫き、それと平行して、中心市街地まで東武宇都宮線が整備されている。また、北西方向には、JR日光線が整備されている。

③ LRT

道路、鉄道に加え、ネットワーク型コンパクトシティの形成を支える総合的な公共交通ネットワークのかなめとなるLRT（次世代型路面電車）について、令和4年3月の開業に向け、優先整備区間であるJR宇都宮駅東側の整備を進めているところであり、駅西側においても、LRTの整備区間や大通りの導入空間、停留場の位置などの整備内容の検討を進め、駅西側LRTの事業化に向け取り組んでいる。

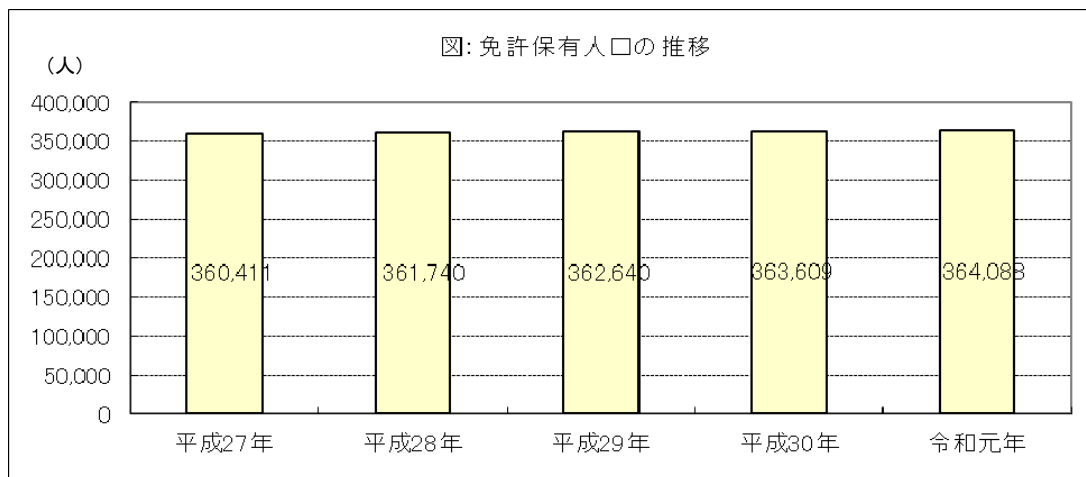
【主要交通網の状況（道路・鉄道）】



(2) 交通関係統計の推移

① 免許保有人口の推移

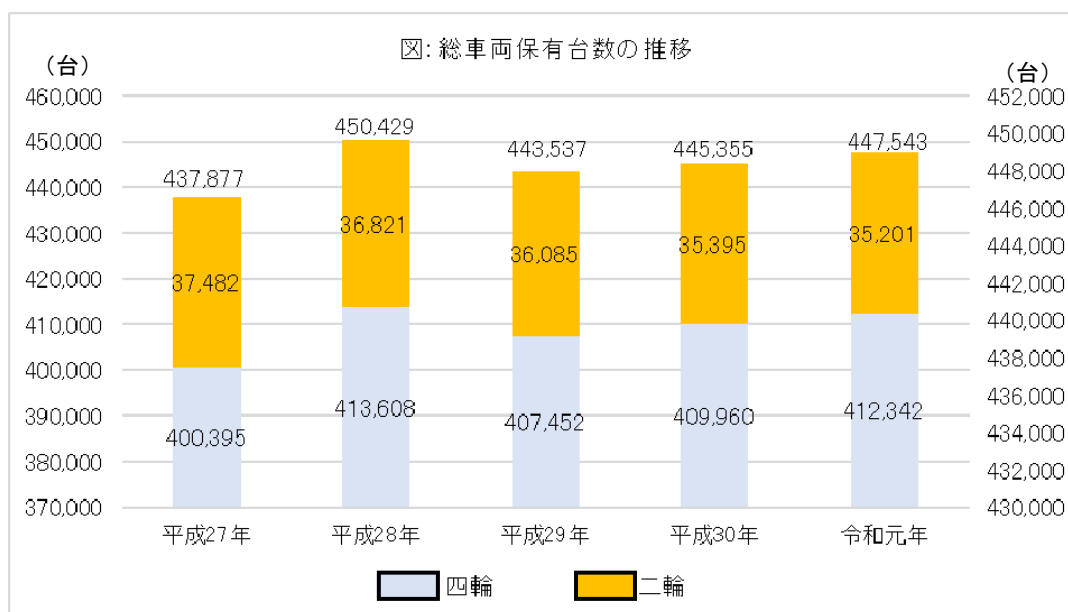
免許保有人口は微増しており、第9次計画最終年（平成27年）から3,677人増加している。



(資料: 交通年鑑)

② 総車両保有台数の推移

総車両保有台数は、微増の傾向にあり、第9次計画最終年（平成27年）と比較すると9,666台増加している。



(資料: 宇都宮市統計データバンク)